

フレッシュ名曲コンサート

ロマンに満ちた 珠玉のメロディ

華麗なる《シェヘラザード》
& 胸を打つショパン



©Yoshinori Kurosawa

注目を浴びる気鋭指揮者

川瀬賢太郎 (指揮)

KAWASE Kentaro



©井村重人

東京音楽コンクール優勝の新星

秋山紗穂 (ピアノ)

AKIYAMA Sabo



©読売日本交響楽団

Program

ショパン：ピアノ協奏曲第2番 へ短調

リムスキー＝コルサコフ：交響組曲「シェヘラザード」

読売日本交響楽団

Uomiuri Nippon Symphony Orchestra

公演
日時

2023年6月3日(土) 【開場】14:15 【開演】15:00

14:30から大ホールステージにて、指揮者によるプレトークを開催します。

会場

大田区民ホール・アプリコ大ホール

○JR・東急線「蒲田駅」東口から徒歩3分 ○京急線「京急蒲田駅」西口から徒歩7分

チケット情報

料金
(全席
指定)

S席 3,500円 A席 2,500円 中学生以下 1,000円

(表示価格は全て税込)

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※車椅子席(4席)をご希望のお客様はお電話でお申しください。

発売
日時

3月15日(水) 10:00~

大田区文化振興協会チケットセンター

ONLINE オンラインチケット

<https://www.ota-bunka.or.jp>

※発売初日から公演前日19:00まで座席
をご予約いただけます(24時間対応)

On
Line



TEL 発売初日専用電話 03-3750-1555(10:00~14:00)

※チケット専用電話は、3/1から発売初日10:00~14:00のみ対応となります。

●発売初日14:00からは、下記で電話予約・窓口販売いたします。

◆大田区民ホール・アプリコ TEL/03-5744-1600 ◆大田文化の森 TEL/03-3772-0700

※大田区民プラザは2023年3月~2024年4月まで工事休館中

【主催】公益財団法人 大田区文化振興協会、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館 【企画協力】東京オーケストラ事業協同組合

【後援】一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

ota_bunka

otabunkaart

大田区文化振興協会

otabunkaart

新型コロナウイルス感染防止策の詳細は、大田区文化振興協会ホームページをご確認ください。

フレッシュ名曲コンサート

ロマンに満ちた珠玉のメロディ

華麗なる《シェヘラザード》& 胸を打つショパン

©読売日本交響楽団

2022年末に文化庁芸術祭大賞に輝いた日本屈指のオーケストラ、読売日本交響楽団がアプリコに登場！名曲を並べ、迫力ある華麗なサウンドを披露します。指揮台に上がるのは、注目を浴びる気鋭指揮者・川瀬賢太郎。リムスキー＝コルサコフの名曲「シェヘラザード」で絢爛豪華な音絵巻を描き出します。さらに、2019年東京音楽コンクール優勝の新星ピアニスト・秋山紗穂が、ショパンの傑作協奏曲を弾き聴衆を魅了します。クラシック音楽界の今をとときめく、俊英たちの競演をお楽しみください！

メインとなる交響組曲「シェヘラザード」は、アラビアンナイトの名でも知られる「千夜一夜物語」を基にしたリムスキー＝コルサコフの代表作。異国情緒にあふれ、幻想的でドラマティックな響きが会場を包み込みます。各楽器の持ち味を活かしたソロも聴きどころのひとつ。川瀬のエネルギッシュなタクトが豊潤なサウンドを引き出し、胸に迫るクライマックスへと誘います。

前半のショパンのピアノ協奏曲第2番は、哀愁を帯びたメロディで広く親しまれている作品。ソロを務めるのは、現在ドイツで研鑽を積みますます活躍の幅を広げる秋山紗穂。ショパン作品を得意とする彼女は、瑞々しいタッチによる美しい演奏を繰り広げるでしょう。

鮮やかな響きが彩る休日の午後、感動と興奮のステージに期待が高まります。

川瀬賢太郎 (指揮) KAWASE Kentaro, conductor



©Yoshinori Kurosawa

クラシック音楽界をリードする新鋭指揮者。2006年東京国際音楽コンクール最高位入賞。イル・ド・フランス国立管、読響、N響など国内外の楽団に客演を重ねている。オペラでは、細川俊夫「班女」、モーツァルト「フィガロの結婚」「魔笛」などを振り、好評を博した。テレビやラジオなどの出演も数多く、テレビ朝日「題名のない音楽会」では気鋭の指揮者として紹介されて話題を呼んだ。齋藤秀雄メモリアル基金賞、出光音楽賞ほかを受賞。14年に国内最年少で神奈川フィル常任指揮者に就任。同ポストを22年まで務め、卓越したプログラミングと躍動感あふれる演奏で高い評価を得た。現在、名古屋フィル正指揮者、札幌響正指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢パーマネント・コンダクターなどの任にある。23年4月から名古屋フィル音楽監督に就任する。

秋山紗穂 (ピアノ) AKIYAMA Saho, piano



©井村重人

第17回東京音楽コンクールピアノ部門第1位及び聴衆賞。第43回ビティナ・ピアノコンペティション特級銅賞。2015年常陸宮両殿下、各国在日大使、政財他各界の方々ご臨席の慈善晩餐会にて演奏。19年日本オーストリア友好150周年の催しに邦人作品の演奏依頼を受けウィーンにて演奏。21年内閣府迎賓館より依頼を受け皇室所有の菊花紋章入りグランドピアノの演奏会に出演。22年ハンガリーにてMAVブダペスト交響楽団と共演。在ドイツ日本大使館より依頼を受けベルリンの同大使館にて演奏。他、国内外にて多数演奏会に出演。

これまでに、都響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、東京シティ・フィル等と共演。

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学を卒業。学内にて宮田亮平賞受賞。伊藤恵氏に師事。現在、ベルリン芸術大学大学院にてジョン・レーマン氏に師事。

読売日本交響楽団 (管弦楽)

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、クラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。2019年4月にセバスティアン・ヴァイグレが第10代常任指揮者を務め、充実した活動を展開している。現在、名誉顧問に高円宮妃久子殿下をお迎えし、サントリーホールや東京芸術劇場などで演奏会を開催している。17年11月にはメシヤンの「アッシジの聖フランチェスコ」(全曲日本初演)が絶賛され、「音楽の友」誌の「コンサート・ベストテン」第1位、サントリー音楽賞などを受賞。22年12月には文化庁芸術祭大賞を受賞した。演奏会などの様子は日本テレビ「読響プレミア」で放送されている。



大田区民ホール・アプリコ

〒144-0052 東京都大田区蒲田5-37-3
TEL:03-5744-1600 FAX:03-5744-1599

区営アロマ
地下駐車場
15分/100円